

## 付 則 6

MFJカップ/地方選手権ロードレース大会  
特別規則 MFJ ROAD RACE

## 1 公示

MFJカップおよび地方選手権は、国際、国内、フレッシュマン、ジュニアライセンス所持者を対象に、各地域で開催される競技会であり、本国内競技規則ならびに選手権ごとに定められる特別規則によって運営される。

## 2 地方選手権

- 2-1 地方選手権の対象種目  
地方選手権対象種目は以下に定める。  
JP250 ・ J-GP3 ・ ST600 (ST600N) ・ JSB1000 (JSBI000N)  
クラスごとに、インタークラスとナショナルクラスのレースに区分される。
- 2-2 参加資格  
ナショナルクラス：ロードレース国内、フレッシュマン、ジュニアライセンス所持者  
インタークラス：ロードレース国際 ライセンス所持者  
※ナショナルJSB1000クラスへフレッシュマンライセンスでの参加可否については主催者が定める。
- 2-3 レースの形態  
・インタークラスとナショナルクラスは、参加台数により混走する場合がある。  
・JSB1000クラスは、参加台数により、各施設で設定されている承認競技クラスとの混走する場合がある。  
・地方選手権ナショナルST600とJSB1000クラスには、同一メーカーの公認車両間の互換性の認められた「Nクラス」が設定され、ST600とST600N、JSB1000とJSB1000Nクラスは、混走で車両区分にかかわらず、レースの結果に基づき、申請昇格ポイントが付与される。
- 2-4 賞および得点  
2-4-1 賞の詳細については、公式通知に示される。  
2-4-2 得点は、付則1 MFJライセンス昇格・降格に関する規則 ④ 自動昇格に必要な得点（ポイント）によって与えられる。  
2-4-3 成績結果と昇格制度  
大会の成績結果は、インター（国際）とナショナル（国内）クラスで別成績管理とする。  
2-4-3-1 国内から国際ライセンスへの昇格制度（ポイント）はナショナルクラスの「国内

ライセンス所持者」に与えられる。昇格は「申請昇格」とし、昇格希望者は、申請期間中に申請しなければならない。

フレッシュマンライセンスには昇格ポイントは付与されない。

### 2-4-3-2

「ジュニアライセンス」から「国内ライセンス」への申請昇格制度

ナショナルJP250、J-GP3クラス（J、RF、国内）の総合順位に応じて、ジュニアライセンス所持者に与えられる。

排気量クラス	クラス呼称	ライセンス	参加可否	昇格ポイント ○付与、×付与しない
JP250	インター(Int) JP250	国際	○	×
		国内	○	○
	ナショナル (Nat) JP250	フレッシュマン	○	×
		ジュニア	○	○国内への昇格制度
J-GP3	インター(Int) J-GP3	国際	○	×
		国内	○	○
	ナショナル (Nat) J-GP3	フレッシュマン	○	×
		ジュニア	○	○国内への昇格制度
ST600	インター(Int) ST600	国際	○	×
		国内	○	○
	ナショナル (Nat) ST600 (ST600N)	フレッシュマン	○	×
JSB1000	インター(Int) JSB1000	国際	○	×
		国内	○	○
	ナショナル (Nat) JSB1000 (JSB1000N)	フレッシュマン	△	×

参加可否 ○ 参加できる △ 主催者による

## 3 MFJカップ JP250

### 3-1 MFJカップJP250選手権

全日本選手権に併催するJP250クラスはMFJカップ選手権シリーズとする。

**注意：今年よりMFJカップは、地方選手権シリーズの1戦から除外される。**

### 3-2 参加資格と参加定員

#### 3-2-1 参加資格

ナショナルクラス：ロードレース国内、フレッシュマン、ジュニアライセンス所持者  
インタークラス：ロードレース国際 ライセンス所持者

#### 3-2-2 参加定員

##### 3-2-2-1 最大予選組2組までとする。

##### 3-2-2-2 大会ごとに出場者に下記の条件が設定され、主催者により決定される。

- ・2016年 各地方選手権のJP250ポイント獲得者
- ・2016年 MFJカップJP250ポイント獲得者
- ・2017年 当該施設の地方選手権JP250ポイント獲得者
- ・主催者推薦枠

#### 予告事項

2018年の参加資格は以下の参加基準が設けられる。

優先順位	参加資格
1	2017 当該施設ナショナル、インターJP250ランキングまたは、ポイント獲得者
2	2018 当該施設ナショナル、インターJP250ランキングまたは、参加実績（エントリー時点）
3	2017 MFJカップナショナル、インターJP250ランキングまたは、ポイント獲得者
4	その他 主催者推薦枠

## MFJカップ/地方選手権ロードレース大会特別規則

- 3-3 レースの形態  
インタークラスとナショナルクラスは、混走レースとする。
- 3-4 基本スケジュール  
公式予選・決勝は、基本的に土曜日に開催する。  
競技会日程は、巻末（382頁）に示す。
- 3-5 賞および得点
- 3-5-1 賞の詳細については、公式通知に示される。
- 3-5-2 得点は、インター（国際）とナショナル（国内）クラス別に、「付則1 MFJライセンス昇格・降格に関する規則 ④ 自動昇格に必要な得点（ポイント）」によって与えられる。  
ただし、MFJカップ JP250クラスからの昇格制度設定はない。

### 4 ワンメイクタイヤ特別規則

地方選手権ST600（ST600R含む）クラスおよびMFJカップ、地方選手権のJP250クラスのタイヤは、下記のタイヤ規則が適用される。

- 4-1-1 タイヤは、予選、(ウォーミングアップラン)、決勝を通じて使用本数が定められる。  
ただし、ウェットタイヤは、タイヤマーキングの必要なく使用することができる。
- 4-1-2 ウェット時のタイヤ使用本数制限は行わない。ただし雨天時においてドライタイヤを使用する場合、マーキングされたタイヤのみ使用可能とする。
- 4-1-3 マーキングされたタイヤの破損  
マーキングされたタイヤが転倒などの原因でタイヤ破損し、競技監督およびタイヤサプライヤーが走行不可と判断した場合、破損したタイヤを交換しなければならない。  
破損タイヤは、主催者が保管し、決勝レースはピットスタートもしくは競技結果に30秒加算のペナルティーが科せられる。
- 4-1-4 タイヤ違反に対する罰則  
ST600、JP250クラスにおいて、タイヤ規制違反が発生した場合、以下の罰則を科せられる。  
予選中 : 当該セッションの予選タイム無効（マーキング違反の場合）  
指定ワンメイクタイヤ以外の使用の場合 : 失格  
ウォーミングアップラン : 決勝レース中に「ストップ&ゴー・ペナルティー」  
または、決勝結果に対し30秒のタイム加算  
決勝中 : 失格

#### 4-2 ST600

- 4-2-1 タイヤは、予選、(ウォーミングアップラン)、決勝を通じて使用本数1セットが定められ、タイヤにマーキングされる。(耐久レースは、大会特別規則による)  
なお、マーキングしたタイヤの変更は認められない。  
ただし、ウェットタイヤは、タイヤマーキングの必要なく使用することができる。

ドライ時・ウェット宣言中	ドライタイヤ	タイヤマーキングが必要
	ウェットタイヤ	タイヤマーキング必要なし

4-2-2 タイヤはMFJが指定した下記のワンメイクタイヤのみ使用することができる。

銘柄	用途	F/R	名称	サイズ
ブリヂストン	ドライ	フロント	BATTLAX RACING R10	120/600R17
		リア	BATTLAX RACING R10	180/640R17
	ウェット	フロント	RACING BATTLAX E05Z	120/600R17
		リア	RACING BATTLAX E08Z	180/640R17

刻印：ドライ、ウェットタイヤのサイドウォールに「NOT FOR HIGHWAY SERVICE」または「NOT FOR HIGHWAY USE」（一般公道走行不可）の記載のあるもの

4-2-3 ブリヂストン指定表示

地方選手権のST600クラスは、ワンメイクタイヤ制度となりタイヤの使用およびブリヂストン指定表示が参加者に対し、遵守事項として義務づけられる。

4-2-3-1 参加者は、MFJおよび大会主催者に「ブリヂストン広告」スペースを提供しなければならない。

4-2-3-2 「ブリヂストン広告」の範囲は図1、図2（次頁）のとおりとし、指定表示物（ステッカー）は大会主催者より配布され、指定された位置および角度への貼付が義務付けられる。

その指定位置左右に十分な間隔を空けてなければならない。

レーシングスーツに貼り付けるワッペンについては有料となります。

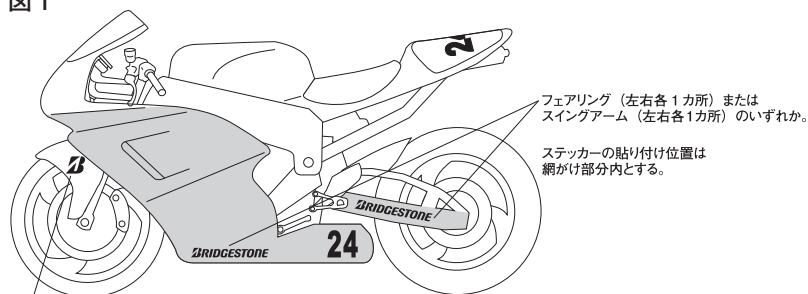
4-2-3-3 車両の広告スペース

下記の位置に貼り付けなければならない。

車両 ステッカー位置 (図1)	ロゴタイプ ※	サイズ (横×縦)
フロントフェンダー (左右各1カ所)		7.5cm×6.5cm
フェアリング (左右各1カ所) または スイングアーム (左右各1カ所) のいずれか。		25cm×3.5cm

※ロゴタイプのステッカーの実物はカラーのものとなります。

図1



フロントフェンダー (左右各1カ所)  
ステッカー位置

4-2-3-4 ヘルメットまたはレーシングスーツの広告スペース

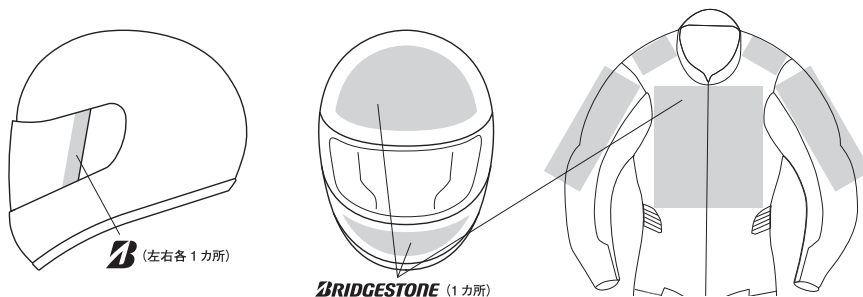
下表いずれかの箇所に「」または「」ロゴステッカーまたはワッペンを貼り付けなければならない。

図2次項参照

ヘルメット/スーツステッカー位置 (図2)	ロゴタイプ	サイズ (横×縦)
ヘルメット シールドの脇 (左右各1カ所)		3cm×2.7cm
ヘルメット前頭部または顎部分 (1カ所)		12cm×1.8cm
レーシングスーツ (前部分1カ所)		13cm×3.6cm (外枠)

※ロゴタイプのステッカーおよびワッペンは実物はカラーのものとなります。

図 2



ヘルメットまたはレーシングスーツのステッカーまたはワッペン貼付け位置は網がけ部分とする。

4-2-3-5 上記、図1、図2のスペース以外の場所は参加者自身の特定の広告を貼付できるが、MFJおよび大会主催事務局によって拒否される場合があることを予め承知していただかなければならない。

拒否されるケース 他のタイヤマニファクチャラー名、他のタイヤマニファクチャラーの商品名および公序良俗に反するもの、社会通念上奇異に感じられる名称など。※参加者の装具への貼付も含む。

4-2-3-6

公式行事

公式行事（表彰式、公式記者会見等）への出席、ならびに出席時のブリヂストンキャップの着用が義務付けられる。その場合は、他のキャップと併用して被ることはできない。

4-3

JP250

4-3-1

タイヤは、予選、(ウォーミングアップラン)、決勝を通じて使用本数1セットが定められ、タイヤにマーキングされる。(耐久レースは、大会特別規則による) なお、マーキングしたタイヤの変更は認められない。

ただし、ウェットタイヤは、タイヤマーキングの必要なく使用することができる。

ドライ時・ウェット宣言中	ドライタイヤ	タイヤマーキングが必要
	ウェットタイヤ	タイヤマーキング必要なし

4-3-2

タイヤはMFJが指定した下記のワンメイクタイヤのみ使用することができる。

銘柄	用途	F/R	名称	サイズ
ダンロップ	ドライ	フロント	DUNLOP SPORTMAX α-13SP	110/70R17M/C 54H
		リア	DUNLOP SPORTMAX α-13SP	140/70R17M/C 66H または150/60R17M/C 66H
	ウェット	フロント	DUNLOP RACING KR189	110/70R17
		リア	DUNLOP RACING KR389	140/65R17

4-3-2-1

使用できるタイヤは、下記表に示される各ホイール適合したサイズに合致したものに限定される。

ホイールサイズ	適合タイヤ (M/C)	
17×3.50	140/70R17	150/60R17
17×4.00	140/70R17	

4-3-3

ダンロップ指定表示


MFJカップ、地方選手権のJP250クラスは、ワンメイクタイヤ制度となりタイヤの使用およびダンロップ指定表示が参加者に対し、遵守事項として義務づけられる。

4-3-3-1

参加者は、MFJおよび大会主催者に「ダンロップ広告」スペースを提供しなければならない。

4-3-3-2 「ダンロップ広告」の範囲は次頁図1のとおりとし、指定表示物（ステッカー）は大会主催者より配布され、指定された位置および角度への貼付が義務付けられる。その指定位置左右に十分な間隔を空けてなければならない。

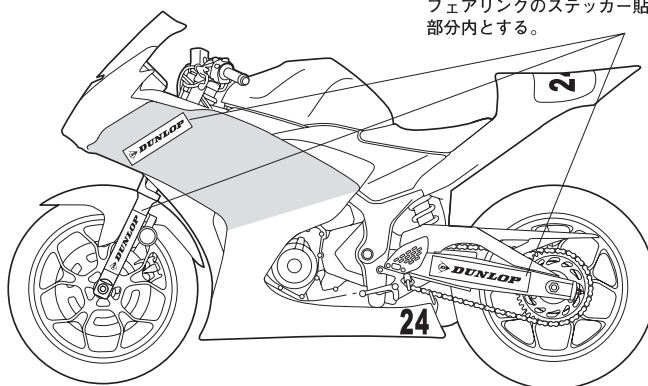
4-3-3-3 車両の広告スペース  
下記の位置に貼り付けなければならない。

車両 ステッカー位置	ロゴタイプ ※	サイズ（横×縦）
フェアリング（左右各1カ所）、 フロントフォーク（左右各1カ所）、 スイングアーム（左右各1カ所）のいずれか。		17cm×3.4cm

※ロゴタイプのステッカーの実物はカラーのものとなります。

図1

フェアリング（左右各1カ所）、  
フロントフォーク（左右各1カ所）、  
スイングアーム（左右各1カ所）のいずれか。  
フェアリングのステッカー貼り付け位置は網がけ  
部分内とする。



4-3-3-4 図1のスペース以外の場所は、ヘルメット・レーシングスーツ等、参加者の装具を含め、参加者自身の特定の広告を貼付できるが、MFJおよび大会主催事務局によって拒否される場合があることを予め承知していなければならない。

拒否されるケース 他のタイヤマニファクチャラー名、他のタイヤマニファクチャラーの商品名および公序良俗に反するもの、社会通念上奇異に感じられる名称など。※参加者の装具への貼付を含む。

4-3-3-5 公式行事  
公式行事（表彰式、公式記者会見等）への出席、ならびに出席時のダンロップキャップの着用が義務付けられる。その場合は、他のキャップと併用して被ることはできない。